

2014年3月号

## 衣類のお手入れ通信

卒業シーズンですね。吹く風はまだ冷たいですが、誇らしげな卒業生の姿には胸が温かくなります。暦の上でも春は着々と近づいています。3月6日は、『啓蟄』。冬眠していた虫が、  
地中から顔を出すという日です。春の訪れはうれしいですが、衣服にとっては、  
虫が動き出すのは心配の種です^^

### 【衣服の虫食いの思わぬ犯人とは？】

3月になり暖かくなると、人は活動的になりますね。この時期、カツオブシ虫、ヒメカツオブシ虫、イガ、コイガといった虫の幼虫たちも活発に動き出します。この虫たち、衣服の「虫食い」の原因となる、私たち人間にはちょっと困った存在です。これらの虫の大好物は、シルクやカシミア、アンゴラなど天然高級素材です。

同じ天然素材でも綿には食いつきませんし、ポリエステル、ナイロン、アクリルなど合成繊維なども、普通は食われる心配はありません。しかしこのような一般的には食われにくいと言われている素材も、汚れたままクローゼットの中にしまいこんでおくとなぜか虫穴が開いていることがあります。なぜ、虫が食わないはずの素材の服に虫穴が開いてしまったのでしょうか。犯人は、実は台所の嫌われ者“ゴキブリ”なのです。「えっ！ゴキブリって服を食べるの？」と驚きましたか？ゴキブリは他の虫とは違い、衣服の繊維そのものではなく、服についた食べこぼしなどをかじり取ろうとするのです。その結果、生地まで一緒にかじり取り、服に穴が開いてしまいます。カツオブシ虫やイガなどは、2～3日かけて1mm四方を食べるのがやっとなので、衣服に開いた穴がそれよりも大きい場合は、ゴキブリの仕業と考えていいでしょう。

もしもクローゼットの中でゴキブリを見つけたら要注意！大切な服が狙われていますよ。汚れたままの服をクローゼットにしまい込むのはご法度です。おしゃれ着はクリーニングに出し、自宅で洗えるものはきちんと洗濯して、大切な服を憎きゴキブリからお守りください。ところで巷ではよく、クリーニングの終わった衣服を保管する時にはビニールカバーを外すように言われています。しかしこの時期は、あのビニールカバーが衣服に虫が付くのを防ぐのに好都合です。虫の動きがどんどん活発になるこれから5月ごろまでは、カバーをしておいた方がかえって安心でしょう。もちろん、湿度が高い季節になったら忘れずに外してくださいね。

定休日：日曜日・祝日      営業時間：7時30分～19時

〒496-0901 愛知県愛西市佐屋町新田1-6

TEL・fax0567-26-9880 <http://105-929.com>

発行者：東郷俊博